

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大竹明新化学株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市明治新開1番7

(3) 業種

塗料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27(2015)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成27年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	4,575	4,346 (5.0)	4,360 4.7	4,325 5.5	4,299 6.0	4,198 8.2	3,952 13.6
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計	4,575	4,346 (5.0)	4,360 4.7	4,325 5.5	4,299 6.0	4,198 8.2	3,952 13.6
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成27年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.09361	0.08893 -5.0	0.09145 2.3	0.09090 2.9	0.09082 3.0	0.08796 6.0	0.09680 -3.4
実績に対する自己評価	平成31年度までは削減効果が認められたが、令和2年はコロナ禍において生産量が減少したためエネルギー原単位としては増加に転じた。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油使用に関わる原単位の削減目標を4%とした。	蒸気トラップ及びボイラーの更新
2	電気使用料の削減	電気使用に関わる原単位の削減目標を1%とした。	製造所の照明のLED化
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。